



# 花田っ子きらきら通信

姫路市立花田小学校HP

<http://www.himeji-hyg.ed.jp/hanada-e/index.cfm/1.html>

姫路市立花田小学校  
文責  
校長 金澤 浩良

## 【2学期始業式での校長の話】

44日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。始業式では、下のような話をしました。

### ～「気づく」は、主体的な学び・思いやりへの第一歩～

みなさん、おはようございます。すばらしい！はなだの「は」。はきはきと元気な挨拶ができましたね。

1学期の終業式でみなさんに宿題を出しましたが覚えていますか。どんな宿題だったかな。

そう、元気に2学期の始業式を迎えるという宿題でしたね。

今、元気にあいさつをできたことをうれしく思っています。

残念ながら、今日、お休みしている人は、あせらず、ゆっくりと体調を整えてほしいと思っています。

さて、今日、学校に来た時に、気づいたことはありませんか？

- ・ 投擲壁がなくなっていること
- ・ 草刈りがされていること
- ・ トイレのスリッパ置き場が変わっていること etc・・・

たくさんの気づきをありがとうございます。夏休み中、皆さんの安全を考えて、高い壁になっているものは、取り壊し、なくすことになりました。これらは、業者さんがしてくださいました。また、みなさんが、2学期の学校生活を気持ちよくできるように、花田小学校の先生方全員で綺麗にしてくださいました。

「気づく」ということは、皆さんの学習に、とても大切なことです。はなだの「な」は、「なぜ？」「どうして？」と頭を働かせるということです。2学期の勉強も、色々なことに「なぜ？」「どうして？」と頭を働かせて色々なことを気づいてほしいと思います。

また、「気づく」ということは、花田の「だ」「だれにでも優しくする」ことにもつながります。友だちのいいところや、友だちが思っていることに気づくことです。友だちのいいところ・思っていることに気づける人は、その人に優しくできているということです。2学期が始まりました。色々なことに気づき、自分の力をどんどん伸ばせる2学期にしていきましょう。

2020年より、新しい学習指導要領を基にした教育活動が展開されていきます。また、すでに、道徳の教科化・3、4年生の15時間の英語学習と、始まっている学習もあります。新しい学習指導要領は、そのテーマとして、「主体的・対話的な深い学び」を謳っています。『主体的な学び』は、まさに、『気づく』ことから始まります。「なぜ？」「どうして？」という一人一人の子の「？」から始まり、「なるほど、そういうことか！」という「！」に導いていく授業展開を更に進めていきます。

2学期も保護者の皆様、地域の皆様にご協力を賜ることが多くあろうかと思えます。どうか、ご理解の上、お力添えいただきますよう、お願いいたします。

## 第26回ふれあい作品展・ふれあいバザー（8/25、26）ありがとうございました。



本年度も、たくさんの力作が保幼小中、そして、地域や各種団体から出そろい、参加者934人の目を楽しませてくれました。また、PTA主催によるバザーも盛況に終わりました。

地域が一つとなって開催された文化的行事。協力してくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。